

BABYBJÖRN®

ベビーキャリア ONE KAI

取扱説明書 / 保証書



ベビーbjörnホームページで**使い方ビデオ**をご覧ください。

<https://www.babybjorn.jp/use> へアクセス。スマートフォンからは右記QRコードをご利用ください。



ベビーbjörn株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目3番2号 郵船ビル3階 TEL. 03-3518-9980(平日10時~16時) MAIL: info@babybjorn.jp

コピーおよび著作権についてはすべて当社が著作権を保有しています。当社の許諾なく私的・引用の範囲を越えて使用することはできません。当社に無断で次の行為を行なうことは違法となり、処罰される場合があります。

目次

① 使用できる対象のお子さま	2 ページ	⑦ ベビーキャリア ONE KAI の装着方法	4~6 ページ
② 安全にお使いいただくために	2 ページ	⑧ おんぶの使い方	7~8 ページ
③ 各部の名称	3 ページ	⑨ おんぶからの降ろし方	7~8 ページ
④ 抱き方のバリエーション	3 ページ	⑩ お手入れ方法	9 ページ
⑤ 脚のポジションの選び方	3 ページ	⑪ 保証・サービスについて	9 ページ
⑥ ご使用前に	3 ページ		

使用する前に必ず取扱説明書を読み、 使用中も保管して下さい

1 使用できる対象のお子さま

△体重:3.5kg~15kg 身長53cm~

(月齢の目安:生後約0ヶ月~約36ヶ月頃まで)

※対面抱っこ0月から1カ月まではSGマーク制度の対象外です。

※着用される方のヒップサイズ(腰骨位置):67~160cm

2 安全にお使いいただくために

本書に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者およびお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じる恐れのある内容を<警告>と<注意>に分けてあります。いずれも安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

△ **警告** 誤った使い方をすると、人が死亡または重症を負う恐れがある内容を示します。

△ **警告** 落下の 危険性

- 乳幼児が開口部より落下する危険があります。特に片方のレッグホールに両脚を入れるなど間違いに注意してください。
- セーフティバックルを接続したまま乳幼児を上から抱き入れないでください。片方のレッグホールから両脚が出る等、落下の危険があります。
- 抱っこ使用時には必ず両サイドから脚が見えることを確認してください。片方のレッグホールに両脚が揃うと落下の危険があります。
- 体を傾けるような状況では、お子さまが落下しないよう手を添えてください。また頭が下向きにならないように腰を曲げるのではなく、膝を曲げて対処してください。
- 必ず正しく装着してください。正しく調節し、固定箇所を確実に締めていないと乳幼児が落下する危険があります。
- 抱っこやおんぶの使用時、大きく前かがみにしないでください。乳幼児が滑り落ちる恐れがあります。

△ **警告** 窒息の 危険性

- 生後4ヶ月未満の乳児は、保護者の身体に顔をつよく押し当てられた場合に、本製品内で窒息する危険がありますので十分に注意ください。
- 乳幼児を保護者の身体に強く縛り付けずに、乳幼児の頭部を動かせる余裕をもって装着してください。
- 常にお子さまの状態に注意しながら使用してください。おんぶしているときには特に意識をして注意してください。また、気道を塞ぐことが無いよう注意してください。

△ **注意** 誤った使い方をすると、人が傷を負ったり、物的損害が起きる恐れがある内容を示します。

着脱時の注意

- 着脱はできるだけ低い姿勢や安全な場所で行ってください。慣れるまでは人に介添えてもらうとより安全に着脱できます。また、おんぶの時には特に注意してください。
- 首のすわらない乳児に使用するときはヘッドサポートを必ず使用し、対面抱っこでのみ使用してください。
- 使用する前にバックルなどの固定部が必ずとまっていることを確認してください。1箇所でも破損がある場合は使用を中止してください。また装着後も緩みがないか確認してください。
- 抱っこで使用する場合、乳幼児の頭で前方、特に足下の視界が妨げられないよう注意して装着してください。歩行時にも注意してください。

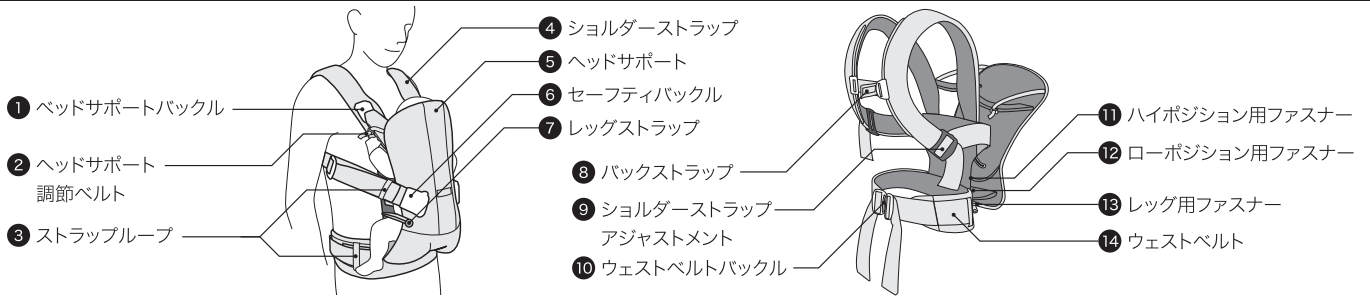
使用時の注意

- 早産児、呼吸疾患等のある乳幼児は、生後1ヶ月を過ぎても使用を控え、必ず医師に相談してからご使用ください。
- バックル開口部に乳幼児の手指を入れないように注意してください。隙間に指が入って抜けなくなったり、傷害の危険性があります。製品を使わないときも、バックルが開いていないよう、はめ込んでおいてください。
- ヘッドサポートバックルをお子様か噛まないよう注意してください。口に怪我を負うなど、最悪の場合乳歯が抜ける危険があります。
- ほ乳後30分間くらいは、おなかを圧迫することがあり、消化吸収を助けるため、使用しないでください。
- 連続して使用するときは、体調の変化や装着状況を確認する必要があるため2時間以下としてください。
- 体調が優れない時や、身体に痛みを感じたらご使用をお控えください。
- お子さまが変調をきたした時には、使用を止め、直ちに医師にご相談ください。
- 抱っこやおんぶをしながら家事、料理をするときには充分にご注意ください。
- ベビーキャリアは、車や自転車の運転、スポーツやその他のレジャー中のご使用には適しません。
- 着用中は、お子さまをベビーキャリアに乗せている状態で絶対に寝ころんだり、眠らないようにしてください。
- 階段などの段差がある場所では足元に十分注意してください。転倒などの重大な事故につながる恐れがあります。
- 使用中の喫煙、飲食は避けてください。やけど等の恐れがあります。
- ストープ等火気の近くに置くとバックル等が変形し、事故につながる恐れがあります。火気の近くには置かないでください。
- 電車やエレベーターなどで過度に混み合っている状況では使用しないでください。
- 妊娠中は使用しないでください。
- ベビーキャリアは、自動車でのカーシートとしては使用できません。
- お子さまを抱く以外の目的に使用しないでください。破損の原因になります。
- お子さまを裸の状態で乗せないでください。
- この製品は一人用です。

保守・点検について

- お使いの前には必ず、バックルがしっかりと合まることを確認してください。
- 縫い目をほどこいたり、改造をしないでください。破損や重大な事故につながる恐れがあります。
- 汗や水などで濡れたりすると摩擦により他のものに色移りすることがありますのでご注意ください。

3 各部の名称



4 抱き方のバリエーション

0カ月(首すわり前)

対面抱っこ

ハイポジション(首すわり前)
0カ月-およそ4カ月
3.5kg/53cm~



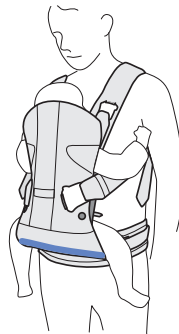
⚠️ 注意

新生児にお使いの場合は、ウェストベルトをお腹の当たりまで上げ、赤ちゃんの頭にキスできるほど、顔の近くで抱っこします。必ずショルダーストラップを適切に調整してください。

およそ4カ月から(首すわり以降・62cm~)

対面抱っこ

ローポジション(首すわり後)
およそ4カ月-24ヶ月
~13kg



前向き抱っこ

ローポジション(首すわり後)
5カ月-およそ18ヶ月
~12kg



12ヶ月から

おんぶ

ローポジション(首すわり後)
12カ月-およそ36カ月
~15kg/100cm



⚠️ 注意

おんぶの時はお子様の状態をこまめに確認してください。
おんぶは必ず12ヶ月を過ぎてからご使用ください。

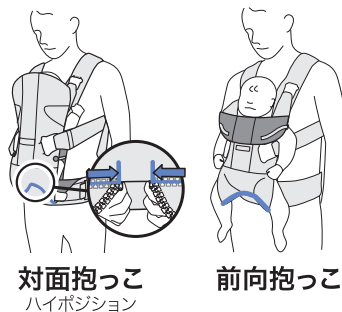
5 脚ポジションの選び方

レッグ用ファスナーの開閉で、ノーマル(通常の状態)またはワイド(開いた状態)のどちらかを選択できます。

ノーマル(通常の状態)

⚠️ 注意

お子さまを前向きで抱っこするときは、必ず脚をノーマル(通常の状態)にしてください。



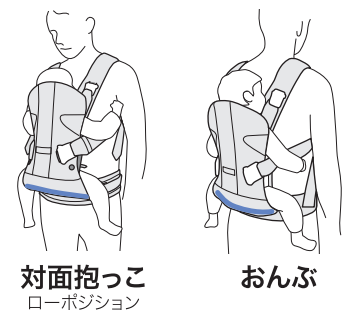
対面抱っこ
ハイポジション

前向き抱っこ

ワイド(開いた状態)

⚠️ 注意

お子さまをおんぶするときは必ずワイド(開いた状態)にしてください。

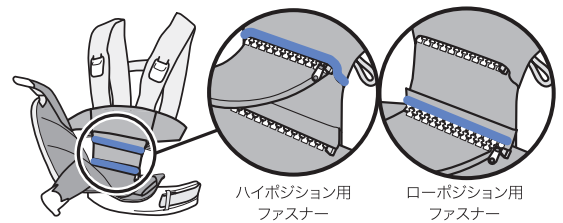


対面抱っこ
ローポジション

おんぶ

6 高さ(サイズ)調節

まず装着前に高さ(サイズ)調節を行います。
上段...ハイポジション用ファスナー(0ヶ月~4ヶ月)
下段...ローポジション用ファスナー(4ヶ月~)

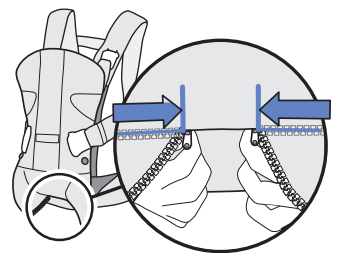


ハイポジション用
ファスナー

ローポジション用
ファスナー

⚠️ 注意 ファスナーの全体がロックされていることを必ず確認してください。

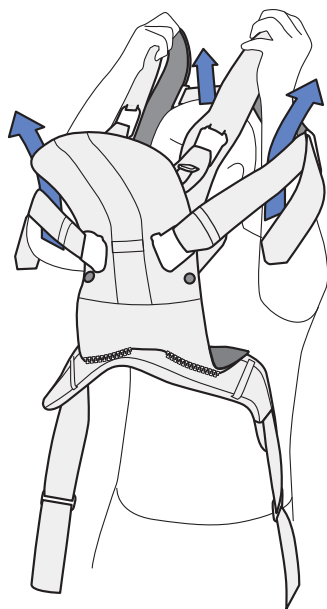
ハイポジションでは、脚はノーマル(通常の状態)にします。両サイドのファスナーを開いてください。ファスナーは、どの位置でもロックできます。足を自由に動かせるように調節できます。



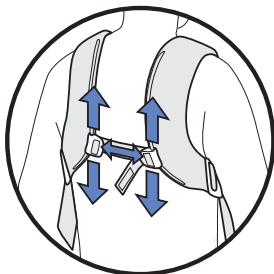
7 ベビーキャリア ONE KAI の装着方法

1 ONE KAI をかぶる

ベビーキャリアを頭からかぶります。バックストラップが肩甲骨のすぐ下にくるようにします。高さと幅をそれぞれ上下、左右に調節します。



重要



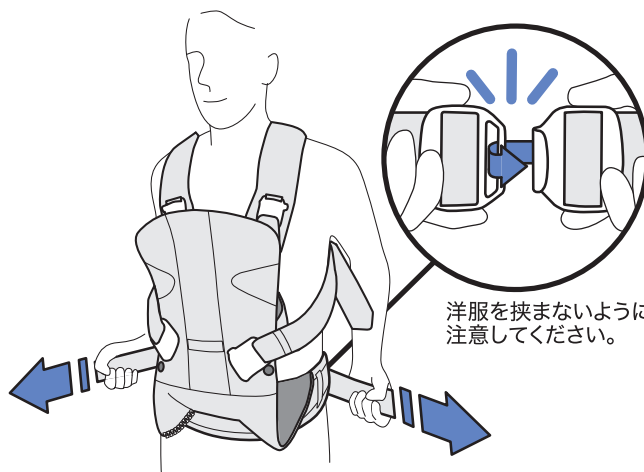
肩甲骨のすぐ下

お役立ちヒント

鏡に背中を映し確認すると分かりやすいです。

2 ウエストベルトを締める

ウエストベルトを背中側でしっかり留めます。ベルトを片方ずつ強く引っ張って締めます。余ったベルトはベルトループに通してください。



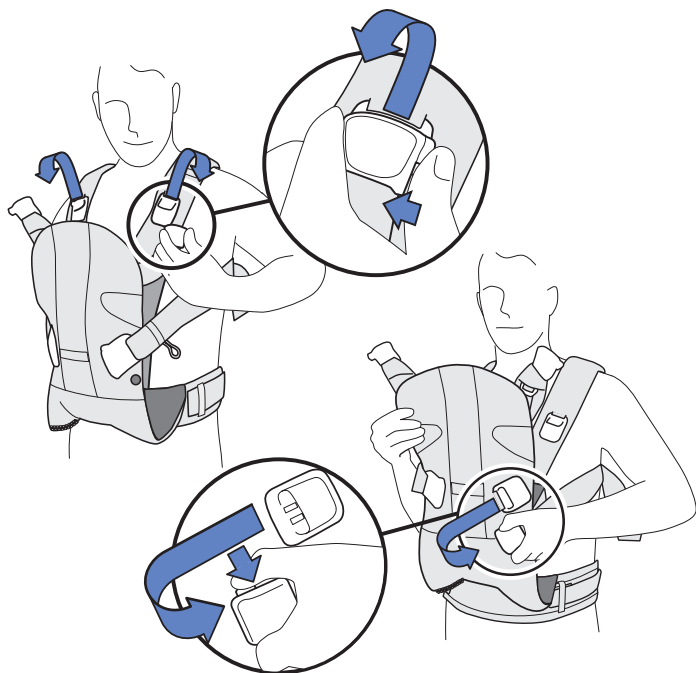
洋服を挟まないように注意してください。

⚠ 注意

ウエストベルトの長さが左右同じになっている事を確認してください。

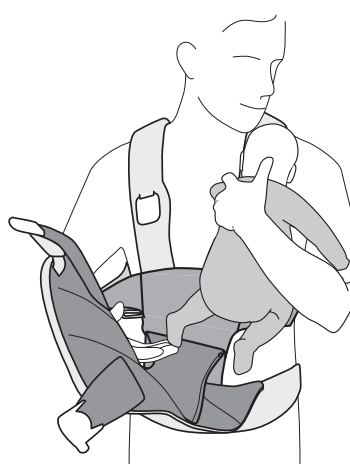
3 バックルを外す

ヘッドサポートの両方のバックルを外します。ボタンを押したまま上へ引っ張ると外せます。片方のセーフティバックルを外します。ボタンを押したまま、前へ押し出すと外せます。

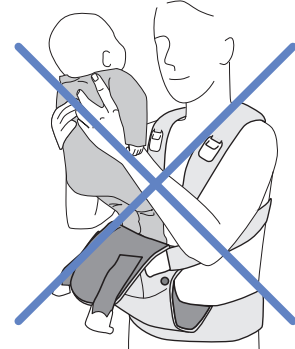


4 赤ちゃんを乗せる

お子さまを対面に抱き、ベビーキャリアに乗せます。脚はフロントピースの両サイドにまたがるように乗せ、腕はアームホールに通します。



⚠ 注意



バックルを接続したまま乳幼児を上から抱き入れないでください。抱っこしたら必ず両サイドから脚が見えることを確認ください。片方のレッグホールに両脚が揃うと落下の危険があります。

⚠ 注意

両手で必ずお子様を支えるようにしてください。



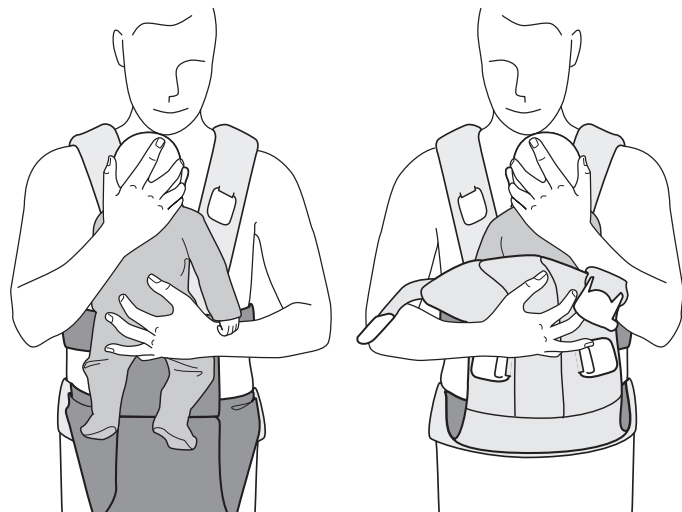
アクセス方法は
裏表紙から

お役立ちヒント

首すわり前の場合

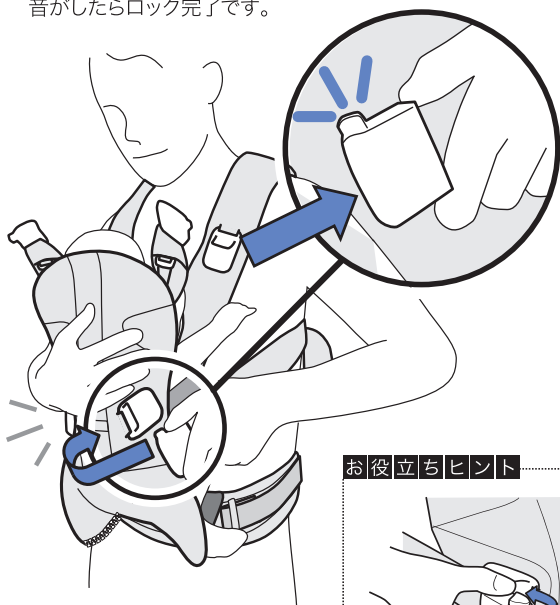
首すわり前の赤ちゃんを乗せる時は、まず、赤ちゃんの体と頭を両手で支え、パパママの胸の高い位置にもたれかける状態にします。そして本体部分をかぶせてください。

慣れるまでは、ベッド等の平らな場所で赤ちゃんを乗せると簡単です。

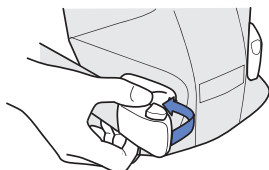


5 セーフティバックルを留める

セーフティバックルを留めます。カチッと音がしたらロック完了です。



お役立ちヒント



何度か繰り返すとコツが掴めます。

6 ヘッドサポートバックルを留める

ヘッドサポートの両方のバックルを留めます。カチッと音がしたら完了です。
※裏表紙の快適抱っこポイント②を参照してください。



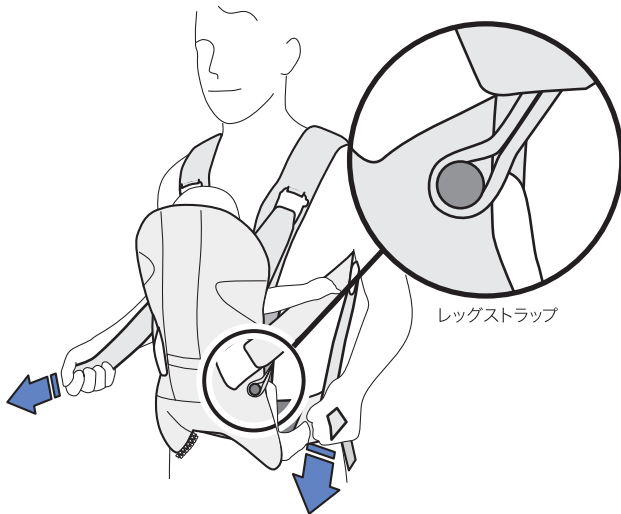
⚠ 注意

ヘッドサポートバックルをお子様が進まないよう注意してください。口に怪我を負うなど、最悪の場合乳歯が抜ける危険があります。

7 ぴったり密着させる

ショルダーストラップを締めます。4.5kg未満のお子さまの場合は、両サイドのレッグストラップを留めてください。

※裏表紙の快適抱っこポイント③を参照してください。



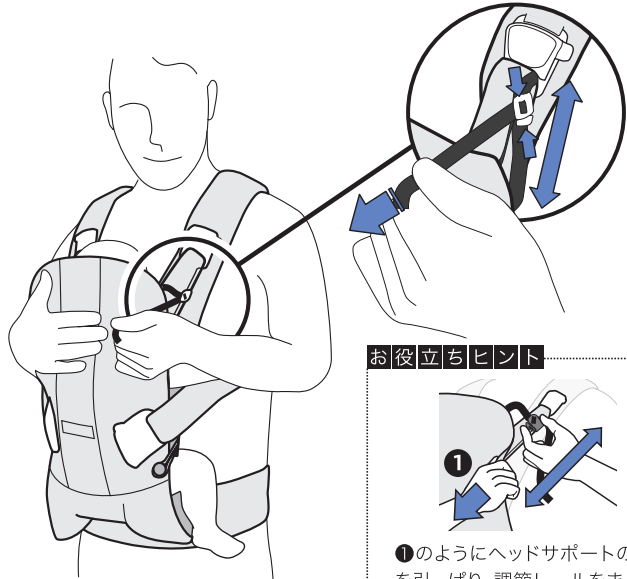
レッグストラップ

お役立ちヒント

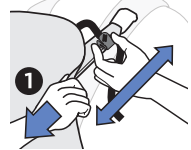
お子さまをもっと高い位置で抱っこしたいときは、お子さまを下から持ち上げ、ウエストベルトの位置を上げます。ショルダーストラップを再度締めてください。

8 ヘッドサポートを調節する

ヘッドサポート調節バックルの上下をつまむと、ファスナーのように調節レールにそって任意の位置に移動できます。位置が決まったら調節ベルトを引いて、ヘッドサポートを固定します。この時、余った調節ベルトがお子さまの顔や目にかからないように注意してください。



お役立ちヒント



①のようにヘッドサポートの根元を引っ張り、調節レールをまっすぐに伸ばすと移動が簡単です。

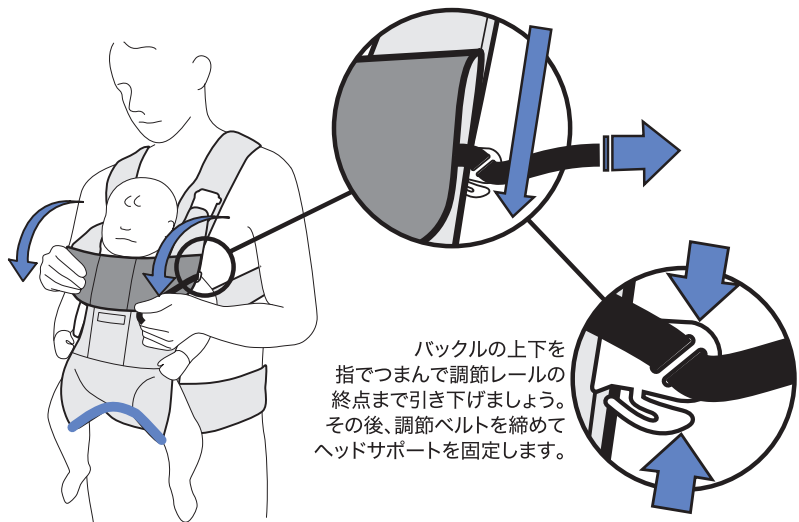
9 前向き抱っこの使い方

ヘッドサポートを折り曲げます。

お子さまを前向きで抱っこするときは、必ず脚をノーマル(通常の状態)にしてください。調節用バックルを一番下まで引き下げます。その後、ストラップを締めてヘッドサポートを固定します。

お役立ちヒント

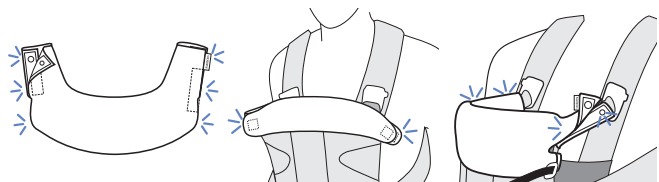
お子さまが少なくとも5ヶ月になるまでは対面での抱っこをお奨めします。そのころになれば首や背骨、腰がすわり、対面または前向きのどちらでも抱っこできるようになります。
前向き抱っこの場合、体重の上限は12 kgです。



バックルの上下を指でつまんで調節レールの終点まで引き下げましょう。その後、調節ベルトを締めてヘッドサポートを固定します。

ベビーキャリアONE用ティージングスタイ

ベビーキャリアONE用ティージングスタイは、ヘッドサポートベルトを通すように装着してください。ヘッドサポート調節バックルをヘッドサポートの折り返し方向に下げて固定してください。お子さまの甘噛みによるよだれからベビーキャリアを守り、お子さま自身の歯や歯茎も保護します。



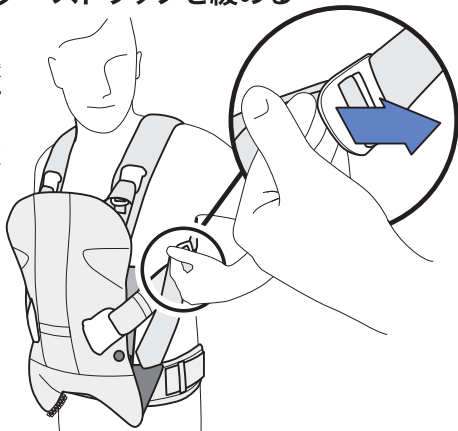
△ 注意 抱っこ紐は歯がため用の製品ではありません。甘噛み時期は十分注意のうえ使用ください。

8 おんぶの使い方

生後12ヶ月以降のお子さまは、背中におんぶできる体格に成長しています。前のページの説明図①～⑦に従って、お子さまをまず対面抱っこしてください。脚はワイド（開いた状態）にします。次に示す手順に従ってください。※脚ポジションの選び方参照

1 ショルダーストラップを緩める

ショルダーストラップを両方緩めます。バックル外側の端を引き上げてください。



2 腕を抜く方向をチェック

右手を上、左手を下にベルトから抜きます。下のようにイメージしてください。



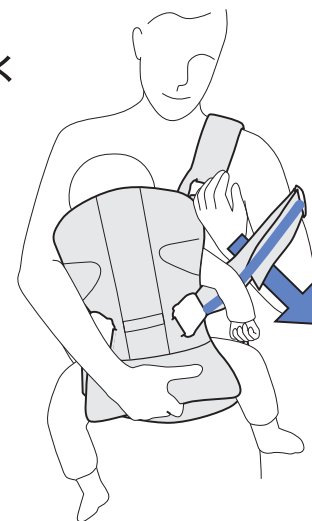
3 右手を上へ抜く

右腕をショルダーストラップの下からくぐらせ、そのまま腕を持ち上げます。



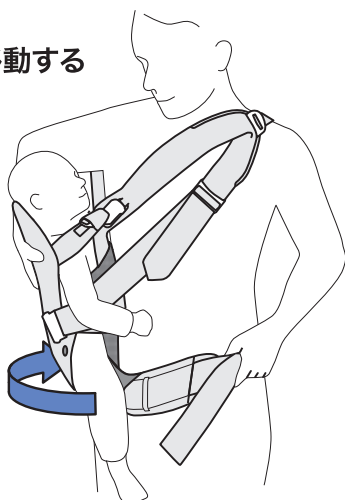
4 左手を下へ抜く

この時ショルダーストラップは左肩と右脇下。左肘をショルダーストラップ脇部分の内側にくぐらせそのまま下げます。



5 お子様を背中に移動する

上げた右腕の下にお子様をくぐらせ、体に沿わせて背面へゆっくり移動させます。その際、洋服に引っかからないように注意してください。



⚠ 注意

背面への移動時、セーフティバックルを持たないよう注意ください。外れる危険があります。

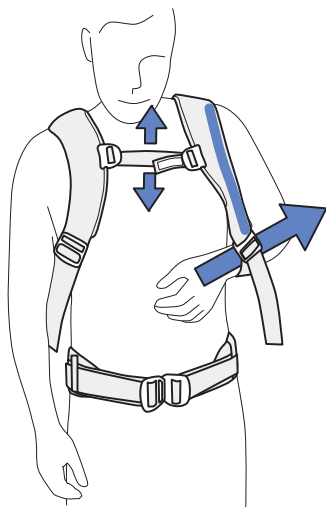
6 右手を入れる

ショルダーストラップをスライドさせて肩の位置まで戻します。ショルダーストラップがねじれていないことを確かめてください。



7 左手を入れる

バックストラップの高さと幅を調節し、着け心地のよい位置にできるようにします。



8 ぴったり密着する

最後にショルダーストラップを後方に引っ張って締めます。



動画で解説
使い方ビデオ

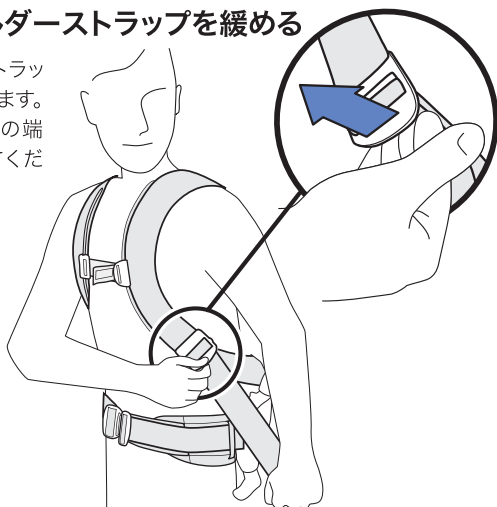


アクセス方法は
裏表紙から

9 おんぶからの降ろし方

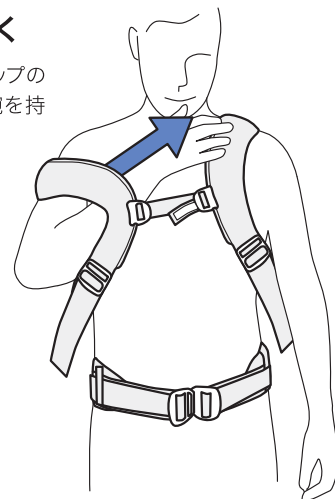
1 ショルダーストラップを緩める

ショルダーストラップを両方緩めます。バックル外側の端を引き上げてください。



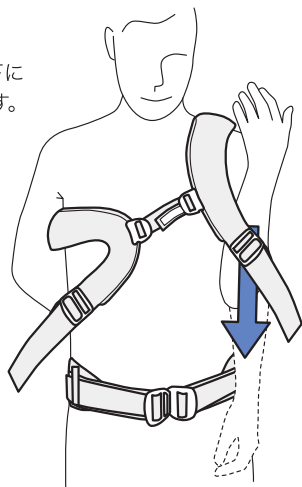
2 右手を上へ抜く

右腕をショルダーストラップの下にくぐらせ、そのまま腕を持ち上げます。



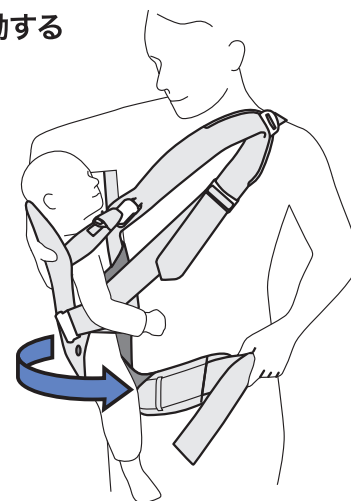
3 左手を下へ抜く

左腕をショルダーストラップ下にくぐらせ、そのまま腕を下げます。

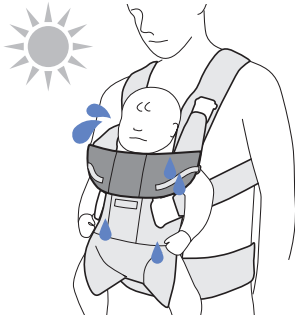


4 お子様を前へ移動する

上げた右腕の下にお子様をくぐらせ体に沿わせて正面へゆっくり移動させます。その際、洋服に引っかからないように注意してください。その後の降ろし方はバックルをはずしてお子様を降ろしてください。



10 お手入れ方法



⚠️ 夏の日差しと汗に注意

コットンタイプの抱っこひもでは、夏にたくさんの汗をかくことがあります。大量に汗をかいたあとは、すみやかに洗濯（水洗い）をしてください。抱っこひもは汗を吸収し、乾燥しますが、この繰り返しにより汗の成分は濃縮され、紫外線と反応し変色のリスクが高まります。たくさん汗をかいたら、1ヶ月に1度の目安で洗濯してください。

⚠️ ご注意ください!

ベビーキャリアを洗濯する際は、「中性洗剤」をご使用ください。一般的な洗剤は、一部に漂白剤が含まれていたり、また蛍光増白剤が移染することもあります。これらは色落ちのリスクとなりますので、中性洗剤を使用することをお勧めします。※必ず洗濯ネットを使用してください。乾燥機は使用できません。

11 保証・サービスについて

品質保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
販売店のレシート、運送会社の送り状など、お買い上げ日のわかるものを保管しておいてください。

- 保証期間内には、パーツの欠品、不良加工などメーカーの責任によるものは無償修理を致しますが、お客様の責任によるものは保証の対象外となります。
- 下記については、保証の対象外となります。

1)キズ、やぶれ。 2)間違った使い方や手入れ不良によるもの。 3)使用者の造作変更によるもの。 4)災害、事故などによるもの。

保証の対象外での修理は承ることができません。あらかじめご了承ください。

ただし一部の部品交換については対応可能な場合がありますので、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

- 製品について何か不明な点がございましたら、お買い求めのお店または、弊社までお問い合わせください。

<input type="checkbox"/> 商品名:ベビービョルン®ベビーキャリア ONE KAI	販売店のレシート、または、運送会社の送り状など、 お買い上げ日のわかるものを添付してください。
<input type="checkbox"/> 保証期間:お買い上げより1年間	
<input type="checkbox"/> 購入年月日: 年 月 日	
<input type="checkbox"/> 販売店-	
住所-	
店名	



SGマーク制度は、SGマーク付き製品に欠陥があり、その欠陥により人身事故が発生した場合に製品安全協会が賠償措置を行う制度です。

SGマーク制度の適用対象月齢

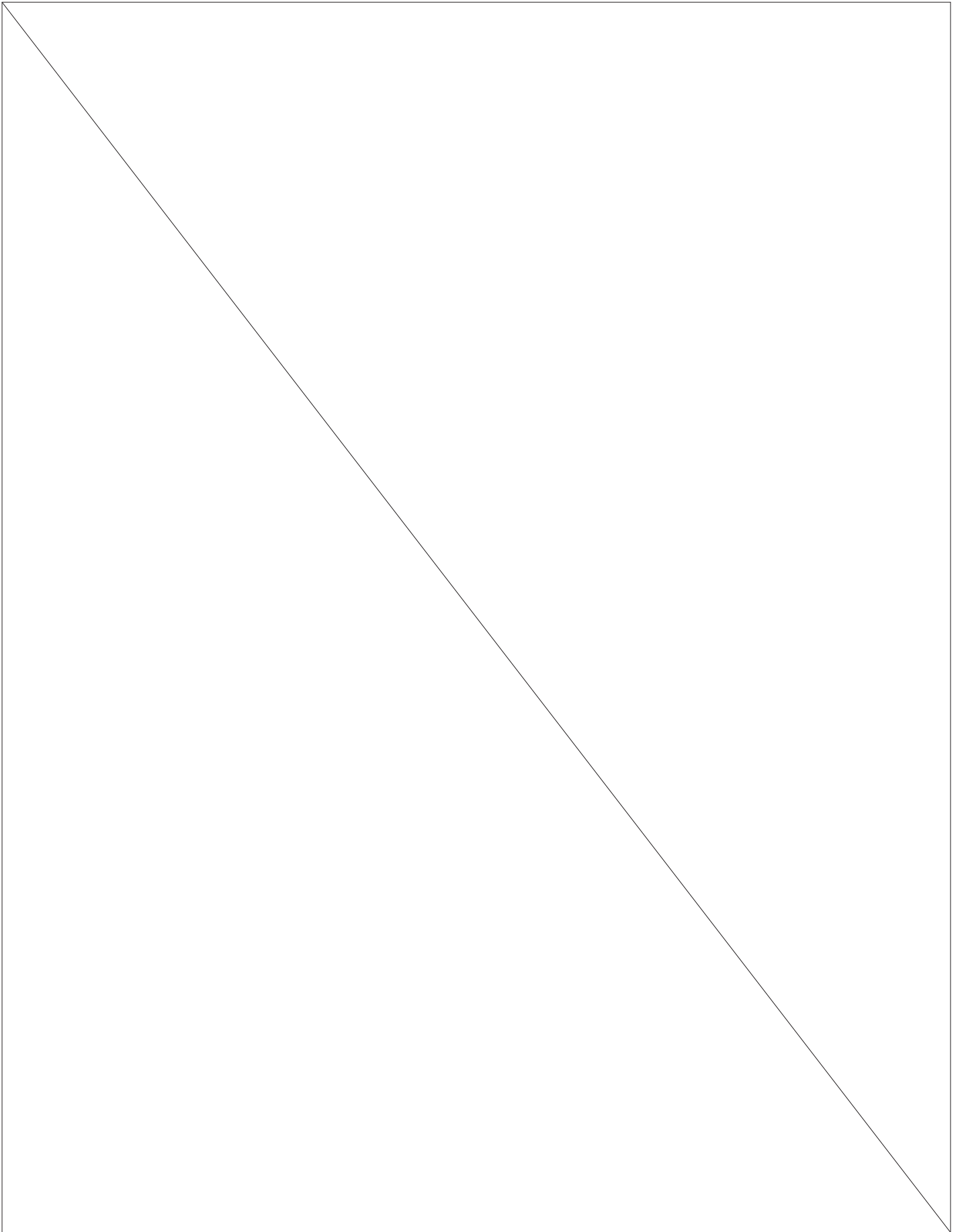
対面抱っこ: 生後1ヶ月(体重3.5kg)から24ヶ月(体重13kg)まで。

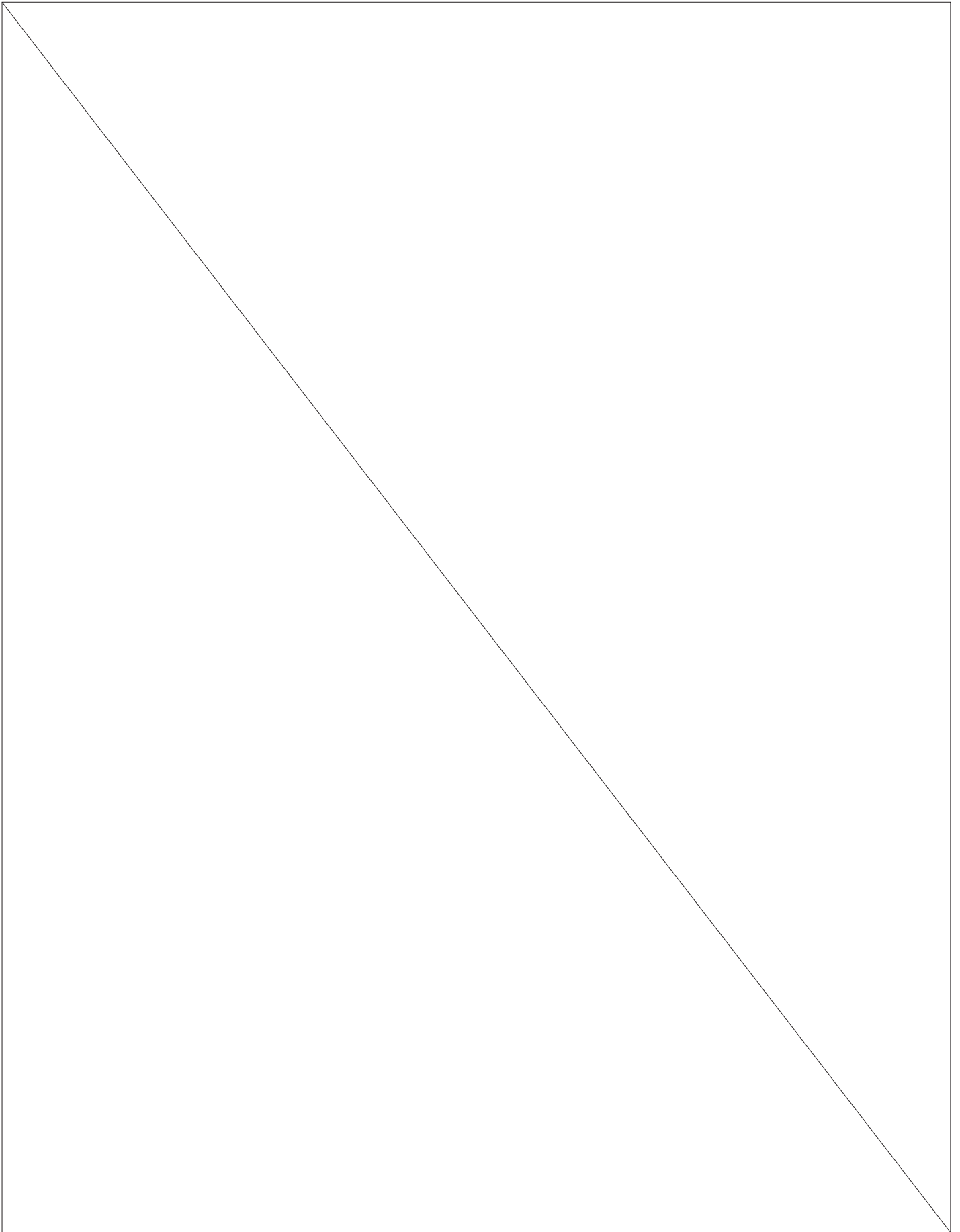
前向き抱っこ: 生後5ヶ月から18ヶ月(体重12kg)まで。

おんぶ: 生後12ヵ月から36ヶ月(体重15kg)まで。

「生産物賠償責任(PL)保険」付

商品の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様のお使い頂いている商品とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

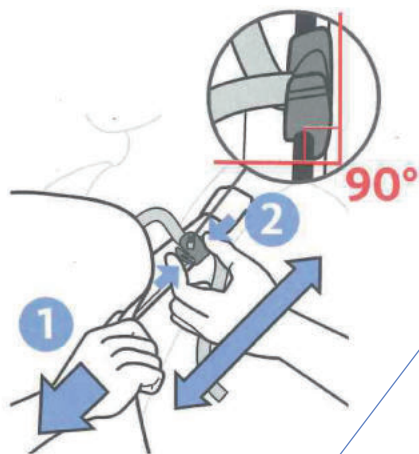




ベビーキャリア ONE KAI 快適抱っこのポイント

ヘッドサポートを調整しよう!

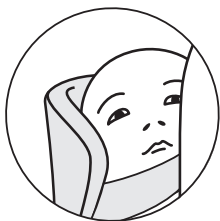
ヘッドサポートは赤ちゃんの頭を安定して支え、折り曲げれば対面抱っこが楽しめます。その時、調整するものがヘッドサポートアジャストメント。ヘッドサポート上のレールに対して、スライダーを図のように90度の状態でスライドさせると簡単に動きます。



- 1 ヘッドサポートの根元を図のように引っ張りレールをまっすぐに伸ばします。
- 2 ヘッドサポートアジャストメントをつまみ上下に動かしてください。

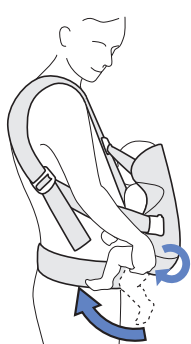


2 ヘッドサポートで優しく包み込む

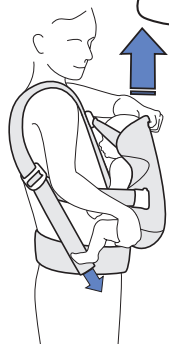


ヘッドサポートを使用するときは、赤ちゃんの顎がすこし上がっている状態で、耳の後ろから後頭部にかけて包み込むようにしましょう。

3 高い位置で抱っこする



お子様の足がパパ、ママに密着するように引き寄せてください。



お子様のお尻を持ち上げてショルダーストラップを締めてください。

1 背中中の位置を正しく



肩甲骨より高い位置ですと肩に荷重がかかります。

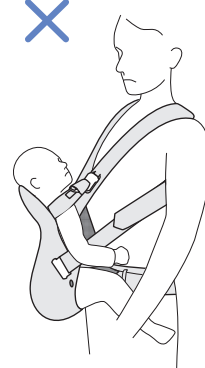


肩甲骨のすこし下がベストポジションになります。



バックストラップの位置が下になりすぎると、ベルトの内側が浮いて荷重が分散されません。

4 ぴったり位置に合わせる



ショルダーストラップが緩いと赤ちゃんの体がパパママから離れ、赤ちゃんが傾き、肩に負担がかかります。